

Press Release

Windows ログオン時の認証のみで統合 SSO 環境を提供 シングルサインオンアプライアンス「SSOcube」がバージョンアップ (Ver1.1) Office365 など Windows クラウド環境でのアプリケーション利用制御を容易に実現

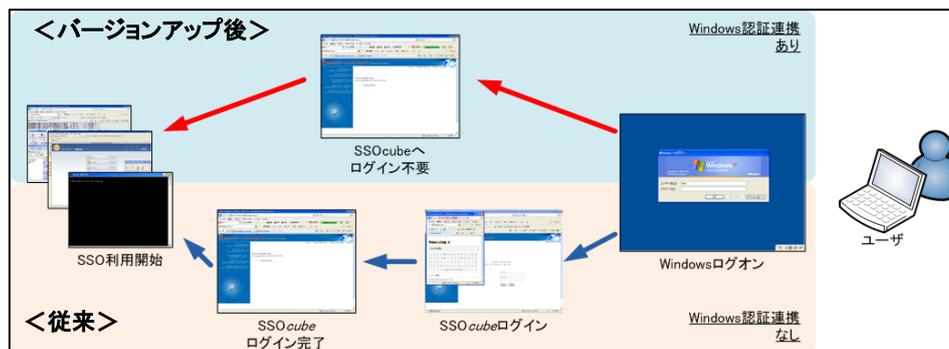
株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進、以下ネットスプリング）は3月6日、シングルサインオンアプライアンス製品「SSOcube」（エスエスオー・キューブ）の新バージョン「V1.1」を発表しました。価格は220万円（100ユーザ仕様のSSOC02-10の場合、税別）から。2013年3月6日より出荷を開始します。

アプリケーションやデバイスが多様化しクラウド利用が増加し続ける環境の下、複合的な業務処理が多い企業や組織では、シングルサインオン機能への注目が再び高まっており、アプライアンス製品としてソフトウェア機能も含めた導入の容易性から、SSOcubeの導入例も増えてきています。

今回発表するSSOcubeの新バージョンは、マイクロソフト社の統合Windows認証との連携を格段に強化したほか、セキュリティ管理の強化、利便性の向上も大きく加えられています。Windows ログオン時の認証のみでシングルサインオン機能が提供され、利用するアプリケーションの制御を行うことが可能になり、SSOcubeへのログオンを不要にしています。

本バージョンV1.1ではWindows7、Windows8（※1）へも対応しており、本製品を利用すれば、既存環境にOffice365を導入するような際にもIDの連携に支障をきたすことなく、スムーズに導入・管理することが可能です。ネットスプリングは、クラウド利用を進める中堅企業や部門ユーザを対象に、導入・管理が容易で、高い利用価値を提供するシングルサインオンアプライアンス製品として本製品の普及拡販を進めていきます。

【SSOcube Windows 認証連携図】



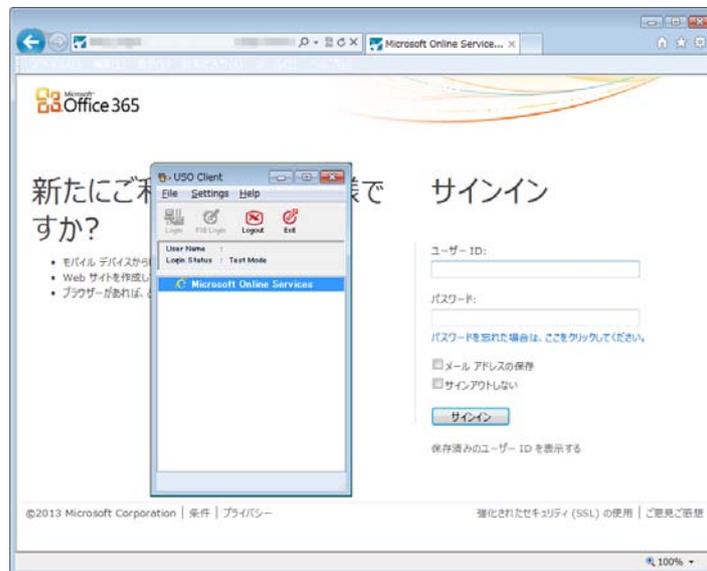
■新バージョン (V1.1) の主な機能

1. 統合 Windows 認証に正式に対応
Windows ログオン情報がSSOcubeに連携され、一度のログオンによりシングルサインオン機能が、開始されます。
2. クライアントでWindows7に対応。
Windows8には本年5月までに対応予定。（※1）
3. セキュリティ強化および機能改善
 - ・対応ブラウザの追加（IE6、7、8、9）
IE10はWindows8と同時期サポート予定、Chrome対応は開発中
 - ・OTP機能を組込型からパッケージ型に変更（OTPの有無を選択可能）
 - ・各ソフトウェアコンポーネント（OSS等）の脆弱性に対処

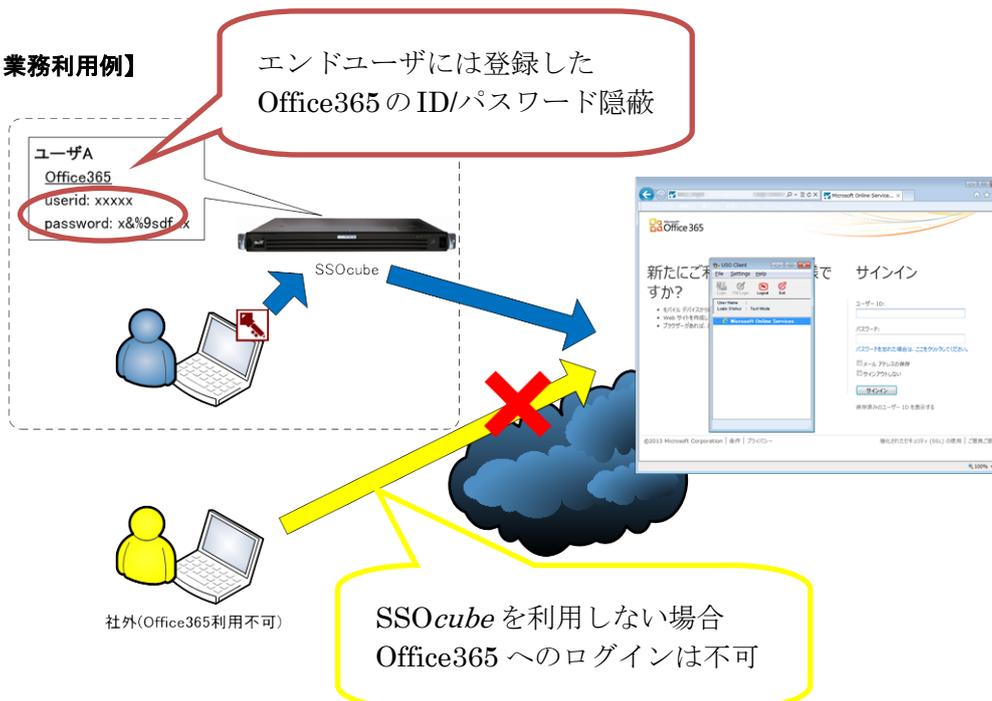
■SSOcubeのSSO機能（汎用SSO：代理入力方式）

SSOcubeでは、Webアプリケーションに限らずさまざまなアプリケーション、例えば、Windows®クライアント上で稼働する汎用機端末エミュレータにおいてもSSO機能が利用できるように実装されています。多くのSSOソフトウェア製品は、Webアプリケーションに対してアプリケーションインタフェース（API）を提供する形態が多く、カスタマイズの自由度は大ですが、結果的にソフトウェア開発が必要なケースが多く、エンタープライズ企業以外では導入の大きな障壁になっています。SSOcubeで実装されているSSO機能は、代理入力方式というシミュレーション形式による実装であり、ユーザアプリケーションの改変はほとんど必要ありません。SSOcubeと通信するPCクライアント上のエージェントが、さまざまなPC画面を識別の上、ユーザIDやパスワード等を代理入力します。これにより、アプリケーションへの対応度が飛躍的に上がり、適用範囲が大きく広がります。Webアプリケーションに限らず、ロータスノート®、Acrobat Connect®やERP等のWindows®上のさまざまなアプリケーション、さらにIBM製・富士通製などの汎用機端末エミュレータにも利用可能です。対象アプリケーションのPC画面や動作を事前に学習（トレーニング）させることにより、多くのアプリケーションに適用することが可能です。また、その設定ファイルや設定情報も多く提供されており、ユーザは必要に応じてユーザ自身で簡単にカスタマイズが可能です。

【Office365 ログオン例】



【Office365 業務利用例】



■SSOcubeの特長

●導入・運用管理が容易

SSO サーバに必要なソフトウェア機能をあらかじめ構築しているため、SSO 機能の選定や評価等の高度な知見と期間が必要な導入準備を省き、最小限の設定のみで運用を開始できます。すべての設定・管理は Web ブラウザから行うことができ、OS や特別なソフトウェアを別途インストールする必要がありません。SSO に必要なユーザ ID やパスワードの一括入力や変更等も Web ブラウザから行うことが可能です。ID 管理機能と SSO 機能、マトリクス型認証機能が予め組み込まれており、ユーザデータや設定情報その他必要なバックアップ処理も含め、オールインワンで提供されます。



【SSOcube ハードウェアアプライアンス】

●ユーザ情報の外部参照可能

SSOcube 内部のユーザアカウント情報を利用するスタンドアロン形態での認証とともに、外部の LDAP (当社 AXIOLE やマイクロソフト社 Active Directory®も含めて) 認証サーバのアカウント情報を参照することも可能です。

●アプリケーション権限設定が可能

ユーザ毎、グループ毎に、予め設定されたアプリケーションの利用権限の設定が可能です。

●監査情報の収集

どのユーザがどのアプリケーションを利用したか等の各種監査ログ情報を SSOcube 内部で収集できるため、アプリケーション利用の管理制御を可能とし、SSO による利便性と同時に、IT 統制への備えを実現します。

●中堅企業・部門組織ユーザ向けに 100～3000 アカウントモデルを用意

中堅企業や部門ユーザ向けに 100 アカウント対応から 3000 アカウント対応まで、50 から 100 単位のモデルをラインアップしています。

■SSOcube 先出センドバック保守サービスを新規に開始 (2013 年 4 月 1 日以降)

SSOcube 本体の代替機先出センドバック保守サービス 年額 16 万円 (1 台あたり、税別)

SSOcube の詳細 : <http://www.ssocube.com/>

■ネットスプリングについて

ネットスプリングは広島大学で開発された学内向けのネットワーク認証ソフトウェアを元に LAN アクセス管理アプライアンス「FEREC」を開発・販売してきました。昨今の情報セキュリティ市場の伸張に呼応し、2011 年 3 月時点で、FEREC は日本国内の大学セグメントにおいて導入率 15%を超えるまでに浸透しています。FEREC 導入の進展とともにネットワーク認証(ID 管理)のオープン化や統合化の要望が増し、ID 管理として LDAP ベースの認証サーバへのニーズが顕在化したため、オールインワンのアプライアンス型認証サーバアプライアンス「AXIOLE」の開発によりこの要望に応え、2006 年末以降継続的に機能拡張を行い、近年では Shibboleth の IdP への対応等々、好評を得ています。

■ネットスプリングの主な製品

- FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)
FEREC 製品専用サイト : <http://www.ferec.jp/>
FEREC 専用 iOS/Android アプリサイト : <http://SmartSignOn.jp/>
- AXIOLE (LDAP 系ネットワーク認証サーバアプライアンス)
AXIOLE 製品専用サイト : <http://www.axiole.jp/>

■株式会社ネットスプリング 会社概要

本社所在地：東京都港区三田三丁目 12 番 16 号 山光ビル 2F (TEL : 03-5440-7337)

代 表 者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)

設 立：2000 年 3 月

資 本 金：8,075 万円

事 業 内 容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピューターネットワークに関するコンサルティング

U R L：<http://www.netspring.co.jp/>

※FEREC および AXIOLE ロゴは、NetSpring Inc.の登録商標です。

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

本件に関する一般からのお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング マーケティング部

<http://www.ssocube.com/>

TEL : 03-5440-7337

E-mail : info@netspring.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ先：

ネットスプリング SSOCube 広報事務局

(株)アルサーブ 担当：河端・川口

TEL : 03-5297-8808

E-mail : netspring-pr@alsarpp.co.jp